

身体疾患におけるこころの働きとケア

— 甲状腺疾患における心理特性の検討から —

島根大学人間科学部 心理学コース 長谷川千紘

本稿では、甲状腺疾患を抱える方の心理特性を検討した研究を報告し、身体疾患におけるよりよいこころのケアのあり方について探索していきたい。研究の出発点は、甲状腺疾患専門病院に設置されたカウンセリング・センターにおける、日々の心理臨床である。筆者らの研究チームは、甲状腺疾患を抱える方のカウンセリングに携わっているうちに、彼らのこころの状態や特性を適切にアセスメントして、そのニーズに応じたこころのケアのあり方を検討する必要があることを実感してきた。これまでに、複数のカウンセリング事例からそのエッセンスを抽出する研究や、心理検査を用いて彼らの心理特性を把握しようとする量的研究を行ってきた。それによって、彼らは、一般的なカウンセリングの主要な対象である神経症とはまた異なる心理特性を示すのではないか、またそれに応じたアプローチの仕方が必要なのではないか、ということを指摘してきた。

こうした流れを受けて、今回、報告する研究では、カウンセリング来談者の約18%を占める、甲状腺の摘出手術を受ける患者群に着目した。こころの状態というのは決して一定ではなく、身体の状態と密接に関連していると考えられる。手術という重大な身体治療のプロセスにおいて、心理的にはどのような体験がなされ、そこにはどのような支援が求められているのだろうか。手術前後の心理特性をアセスメントすることによって検討していきたい。なお、本研究は、甲状腺疾患の専門病院における院内会議において、医学的・倫理的な面から検討が行われ、了承を得た上で行われたものである。

研究にご協力いただいたのは、甲状腺疾患専門病院において甲状腺摘出術を予定している、バセドウ病(GD)患者群と甲状腺乳頭がん(PTC)患者群である。アセスメントには、トロント・アレキシサイミア尺度(TAS-20)と、バウムテストという2種類の心理検査を用いた。TAS-20は、自己評定型質問紙であり、心身症に広く認められるアレキシサイミア特性を測定するものである。またバウムテストは、「実のなる木を一本」描く投影描画法で、実際の心理臨床の現場で広く用いられている。描かれた樹木の構造を分析することで、パーソナリティの構造を捉えることができると考えられる。

研究1では、バセドウ病群(29名:平均年齢41.69歳、SD=11.24)と甲状腺乳頭がん群(33名:平均年齢47.03歳、SD=13.86)の手術前の心理特性について検討した。TAS-20では、健常群(平均年齢36.74歳、SD=9.77)と比較して、甲状腺疾患の2群は「外的思考」の得点が高く、自らの気持ちや感情といった内的な事柄よりも、現実的・実際の外的な事柄に意識が向く傾向が認められた。バウムテストでは、健常群(前出)と神経症群(平均年齢36.11歳、SD=11.46)と比較して、甲状腺疾患の2群には、自己の境界や統合に関わる心的守りが弱まっている可能性が指摘された。こうした結果から、手術前には、本人に意識されているよりも深い次元で心理的な安定性が揺らいでいる可能性があり、漠然として形になりにくい不安や訴えを、治療側が敏感に拾い上げることが大切と考えられた。

研究2では、バセドウ病群(22名:平均年齢41.18歳、SD=11.78)と甲状腺乳頭がん群(22名:平均年齢44.55歳、SD=14.83)の手術前後の心理特性の変化を検討した。TAS-20では、2群ともに「感情の同定困難」が術後に高くなり、「外的思考」が術後に低くなっていた。バウムテストでは、一定の傾向は認められなかったが、樹木の構造が不安定になるグループ、変化のないグループ、安定するグループという3つの傾向に分類された。これらの結果は、術後に、意識が内面に向かう傾向があり、それによって感情の揺れや不安、またこれまで意識されていなかった心理的テーマが表面に上がってくる可能性を示唆していると考えられた。こうした心理的な変化が、術後のカウンセリングの来談につながっている可能性があるだろう。田中ら(2008)は、甲状腺疾患患者のカウンセリングの特徴の一つとして、現実的な問題が解消することで短期に終結するケースの多さを指摘している。このような臨床像と照らし合わせて考えると、術後に示される心理的な問題もまた、短期的なカウンセリングが効果的であるかもしれない。一方で、バウムテストにおいて心理構造が大きく変化したグループでは、手術をきっかけに自らの生き方や人生そのものを振り返り始める人々もあり、より本格的な心理療法によるアプローチが有効であろうと考えられた。

【文献】

田中美香・金山由美・河合俊雄・山森路子(2008)甲状腺専門病院における心理臨床—身体医から依頼されるケースの分類と特徴—, 心療内科, 12, 430-435.

【謝辞】本研究は、医療法人神甲会隈病院の協力のもと行われました。ご協力賜りました患者様に深く感謝申し上げます。

【キーワード：心理アセスメント、心身症、甲状腺疾患、TAS-20、バウムテスト】